

## 第2学年 理科「気象とその変化」

気象庁ワー  
クショップ  
資料から  
抜粋

1. 育成を目指す安全に関する資質・能力（児童が自ら命を守るために必要な知識・技能）  
防災情報を体系的に理解して入手し、早めの準備、安全行動をとれる  
(1) 風水害は登下校時の道路環境を変えることがあることを理解し、危険を的確に判断し、安全な行動ができるようする。  
(2) 風水害には二次的な土砂災害も含まれるので、地域の自然環境も理解する。  
(3) 注意報・警報・特別警報の意味や避難勧告・避難指示等の発令を理解する。

生きる力を  
育むための  
安全  
教育  
P14  
から  
抜粋

気象庁ワー  
クショップ  
資料から  
抜粋

2. 目標  
自らの問題として、日頃からの備えや適時適切な防災気象情報の入手とその情報を活用した安全行動を事前にシミュレートする

小学校学習  
指導要領  
(平成29  
年告示)解  
説 社会編  
P34から  
抜粋

3. 他教科・領域とのつながり（教科等横断的な視点でのカリキュラム）  
社会科（小学校3年：地理的環境と人々の生活）

### 4. 単元構想（全5時間）

#### 自然の恵みと気象災害

気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解すること。

中学校学習  
指導要領  
(平成29  
年告示)解  
説 理科編  
P97から  
抜粋

#### (1) 事前指導（1時間）

自宅・通学路などにおける災害（土砂災害・洪水・浸水など）が想定される個所を把握する。（個人学習）想定した箇所をもとに、想定される被害等を具体的に考え、意見交流する。（班学習）

#### (2) 気象庁によるワークショップ（3時間）

「経験したことの無い大雨 その時どうする」

- ①講義（質疑を交えながら）・グループワークの進め方の説明
- ②グループワーク1・2
- ③グループ発表（グループ間の質疑を含む）、まとめ、講評
- ④アンケート



